



福建省銅含有酸性廃液の汚染現場
(提供・チャイナ・ウォーター・リサーチ)

水リスクと企業



グローバルウォーター・ジャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就
よしむら かずなり

中国の水資源

中国は水不足の国である。水資源総量は、約2兆4千億立方メートル(2009年)であり、世界全体

に占める水資源割合は約5%である。一方、世界人口に占める中国の人口割合は20%であり、絶対

中国の水環境の現状(その1)

▶ 5

い。黄河流域の山東省、河北省、山西省でも水不足に見舞われている。河水が少なければ地下水の利用であるが、今、この貴重な地下水が未曾有の汚染に直面している。

地下水汚染の現状

なぜ、地下水が汚染さ

るか、中国での土壌回復

【全国の土壌汚染状況は国家秘密】

中国は06年より国家環境保護部が「全国の土壌汚染状況調査」を実施しているが、調査結果は現在まで公表されていない。今年初めに多くの市民団体や社会組織から「情報公開」を請求されているが、環境保護部は「国家秘密」として公開を拒否している。

【汚水を高圧ポンプで地下注入】

化学工場や製紙工場的大量の廃液(重金属や有害物質を含む)が高圧ポンプで地下注入されている例が多く報道されている。中国では、河川放

水が汚染されており、飲料不適とされている。

汚水処理場の現状

中央官庁は「中国全土で汚水処理場の建設が加速度的に進み、汚水処理人口普及率は78%、汚水処理率も70%を超えている」と報告している。もし、この数字を信用するならば、中国の河川は日本並みにきれいになっているはずである。

資源偏在し絶対的水不足 頼みの地下水も9割汚染

的に水不足である。中国は1人当たりの水資源量は世界平均の4分の1である。さらに水資源は偏在しており、南部沿海州地域は降水量が多く、経済発展や人口の集中している北部地域では少な

れるのか。中国において、土壌汚染が深刻である。開発ブームにより多くの有害物質を使用していた生産工場が郊外に移転し、有害物質は、その

(修復)の手段は、有害物質を含む汚染された土壌を掘り出し、別の場所に埋めるのが主流であり、日本のような土壌修復対策(吸着、燃焼、固化など)はほとんど行われていない。

流の場合は厳しい水質規制(守られているかは別問題)があるが、土壌への汚水注入の規制はない。中国地質調査局の内部資料によれば、中国の都市・農村部の90%の地下

水が汚染されており、飲料不適とされている。